

労働需要に関するアンケート調査

別紙 2

【調査票の記入について】

- 1 本調査は、政府統計共同利用システム事業所母集団データベース（経済センサス平成29年度版）を用い、無作為に抽出した中小企業に送付しています。
- 2 総務・人事御担当者様にお渡しいただき御回答ください。
- 3 御回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、個々の回答内容をそのまま公表することはありません。
- 4 御記入いただいた調査票は、令和元年（2019年）9月24日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、無記名のまま郵便ポストに投函くださるようお願いいたします。（切手は不要です）
- 5 本調査の結果は、10月下旬以降に本市ウェブで公表する予定です。
- 6 御回答に当たってのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

【調査票に関するお問い合わせ】（月～金曜日、8:30～17:00 祝日を除く）

平塚市 産業振興課 企業支援・労政担当：遠藤・尾上

254-8686 平塚市浅間町9番1号 TEL：0463-21-9758 FAX：0463-35-8125

人手不足の状況についてお伺いします

問1-1 現在（令和元年8月1日時点）、従業員は不足していますか。（○は1つ） 不足している場合、概算人数を記載してください。

1. 不足している	2. 不足していない
正規社員 ()人	非正規社員 ()人
派遣社員 ()人	

非正規社員とは、正社員、派遣社員以外のパート、アルバイト、嘱託員等を指します。以下の設問についても同様です。

問1-2 問1-1で「不足している」と回答した方に伺います。従業員が不足している要因は何ですか。（○は2つまで）

1. 定年退職による欠員	2. 自己都合退職による欠員
3. 既存事業の拡大	4. 新規事業の設立
5. 休業（育児・介護等）による欠員	6. その他（下欄に具体的に記入してください）
<その他：具体的内容>	

問2-1 4年後を見据えた場合、従業員の不足が見込まれますか。（○は1つ） 不足する見込みの場合、何人くらい不足する見込みですか。概算人数を記載してください。

1. 不足する見込み	2. 不足しない見込み	3. わからない
正規社員 ()人	非正規社員 ()人	派遣社員 ()人

問2 - 2 問2 - 1で「不足する見込み」と回答した方に伺います。従業員が不足している要因は何ですか。（○は2つまで）

1. 定年退職による欠員	2. 自己都合退職による欠員
3. 既存事業の拡大	4. 新規事業の設立
5. 休業（育児・介護等）による欠員	6. その他（下欄に具体的に記入してください）
＜その他：具体的内容＞	

求める人材についてお伺いします

問3 持続可能な経営の観点で考えたとき、欲しいのは、どんな人材ですか。次のA枠とB枠からそれぞれ1つずつ選択し、下の回答欄に番号を記入してください。（求める人材を第1位～第3位まで回答してください）

<A> 学歴

1. 大学院修了	2. 大学卒	3. 高専卒
4. 専門学校卒	5. 高校卒	6. 中学卒
7. 職業訓練校卒	8. 学歴不問	

 職種

1. 管理的な仕事	2. 専門的・技術的な仕事
3. 事務的な仕事	4. 販売する仕事
5. サービスを提供する仕事	6. 保安の仕事
7. 生産工程の仕事	8. 輸送・機械運転の仕事
9. 建設・採掘の仕事	10. 運搬・清掃・包装等の仕事
11. その他（下欄に具体的に記入してください）	
＜その他：具体的内容＞	

（回答例）

	A	B
第1位	2 (大学卒)	3 (事務的な仕事)
第2位	3	7
第3位	4	2

の人材

（回答欄） 番号のみ記入してください。

	A	B
第1位		
第2位		
第3位		

人材確保の方法についてお伺いします

問4 求人で行っているものはどれですか。(○はいくつでも)また、○をつけたものうち、最も効果のあったものに○をつけてください。(○は1つ)

1. ハローワークの活用	2. 大学や専門学校等の就職課への働きかけ
3. 求人広告や求人サイトの活用	4. 自社採用ホームページの活用
5. SNSの活用	6. 社員からの紹介の活用
7. その他(下欄に具体的に記入してください)	
<その他:具体的内容>	

問5 人材確保のための貴社の戦略の方向性に近いものはどれですか(○は1つ)

1. 同業他社よりも高めの賃金を設定して人材を確保する
2. 賃金の多寡ではなく、働きやすさ等自社で働く魅力をPRして人材を確保する
3. その他(下欄に具体的に記入してください)
<その他:具体的内容>

問6 従業員の満足度を上げるために現在取り組んでいる、もしくは今後取り組みたいと思う方法はどんなことですか。(○は3つまで)

1. 長時間労働の是正	2. 福利厚生制度の充実
3. ワークライフバランスの推進	4. 研修制度の充実
5. 適切な評価制度の導入	6. 勤務体制の見直し
7. 定年延長	8. 通年採用
9. 在宅勤務(テレワーク)	10. 特になし
11. その他(下欄に具体的に記入してください)	
<その他:具体的内容>	

問7 本市では、下記1~3に示す方々を潜在的労働力と捉え、企業に対し、これらの方々が働きやすい環境の整備を促進したいと考えています。これらの人材を採用する場合、どんな人材を採用したいと考えますか。(○はいくつでも)

1. 出産等を機に退職している女性	2. 障がい者(本市では法令上の規定や制度等を除き、この表記としています)
3. 高齢者	4. 採用する予定はない

問 8 問 7 で回答した人材の採用にあたって、貴社で対応が必要だと考えることがあれば記入してください。

(例) パリアフリーの整備、サポート体制の充実や労働内容・労働時間の調整 等

・希望する支援についてお伺いします

問 9 平塚市は現在、セミナーや各種事業を実施し市内企業の人材確保の支援をしています。下記に記載した 1 ~ 16 の事業の中で利用したいと思うものをお選びください。また、下記以外で実施を希望されるものがありましたら、その他の欄に記入してください。

<各種セミナー等の開催による支援> (○は2つまで)

- 1 労働生産性の向上に関するセミナー
- 2 女性や若者の労働に関するセミナー
- 3 外国人の労働に関するセミナー
- 4 働き方改革や労働法に関するセミナー
- 5 高齢者や障がい者の労働に関するセミナー
- 6 企業の魅力アップに関するセミナー
- 7 安全衛生・ハラスメントに関するセミナー

<人材確保に対する支援> (○は3つまで)

- 8 合同就職面接会
- 9 市内大学等の学生を対象とした合同説明会
- 10 求職者を対象とした企業見学バスツアー
- 11 従業員の奨学金返済に対する支援
- 12 福利厚生 of 充実に対する支援
- 13 従業員のスキルアップ研修に対する支援
- 14 他企業の優良事例の紹介
- 15 国・県等の施策の情報提供(市ウェブ掲載)
- 16 求職者に向けた市内企業の魅力発信

<その他>

(御自由に記入してください)

・新たな人材を雇用する以外の方法についてお伺いします

問10 労働力不足を補う方法として、求人以外の対応でどのような方法があると考えますか。
(○は2つまで)

1. 組織を変えずに足りない分をアウトソーシング(外部委託)に任せる
2. 機械化による省力化・自動化等を進め、既存の人数で対応する
3. 他の企業と業務提携(例:組合を作る)をして、仕事を分散し、既存の人数で対応する
4. 組織を見直し、既存の人数で兼務を増やして対応する(一人当たりの生産量を上げる)
5. その他(下欄に具体的に記入してください)
<その他:具体的内容>

・貴社の概要についてお伺いします

問11 業種を選んでください。(○は1つ)

1. 建設業	2. 製造業	3. 卸売業・小売業
4. 不動産業・物品賃貸業	5. 宿泊業・飲食サービス業	6. 生活関連サービス業・娯楽業
7. 医療・福祉	8. サービス業	9. その他(下欄に具体的に記入してください)
<その他:具体的内容>		

問12 貴社の従業員数・資本金を記入してください。(概数で結構です)

従業員数 (令和元年8月1日時点)	正規社員	男性 約()人	女性 約()人
	非正規社員	男性 約()人	女性 約()人
	派遣社員	男性 約()人	女性 約()人
		合計 ()人	
資本金	()円		

本調査でお聞きしたような労働需要に関して、御意見・御要望がありましたら記入してください。

--

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、**9月24日(火)**までに郵便ポストに投函くださるようお願いいたします。

(切手は不要です)